

addS_BlockReplacement [ブロック置換(属性値)]

変更前・後のブロック名と属性名を指定してブロックを置き換えます。

アクセス方法



リボン: [adds]→[ブロック・参照]パネル→[ブロック]ドロップダウン
[挿入]→[ブロック]パネル→[ブロックを置換]ドロップダウン

解説:

指定したブロックを属性情報を含めて別のブロックに変更します。

変更前・後の置き換え条件のリストに名前を付けて保存して繰り返し利用できます。

読み込んだ「置き換え設定」に登録されている変更後のブロックが現在の図面に登録されていない場合、メッセージが表示されます。

変更前のブロックに定義されている属性数を変換後のブロックに引き継ぎ、指定できない属性は初期値で挿入されます。

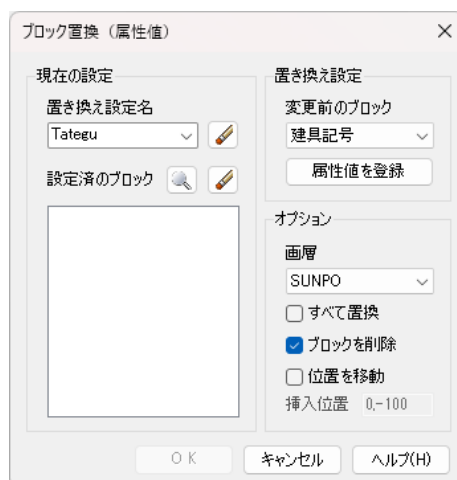
コマンド入力: ADDS_BLOCKREPLACEMENT

置換するブロックを選択:

手順:

変換前のブロック「建具記号」を画面上で選択し、属性情報を含めて「開口記号」ブロックに変更し、置き換え設定名を「Tategu」で保存します。

1. [ブロック置換(属性値)] ボタンをクリックします。
2. 「現在の設定－置き換え設定名」を指定します。
3. 「置き換え設定－変更前のブロック」ドロップダウンで変更するブロックを指定します。



4. [属性値を登録]ボタンをクリックして「置換属性リスト」ダイアログボックスを開きます。
5. 左側に指定した変更前のブロックの名前と属性名が表示され、右側に表示されるブロック名、属性名のドロップダウンで変更後の設定値を指定します。

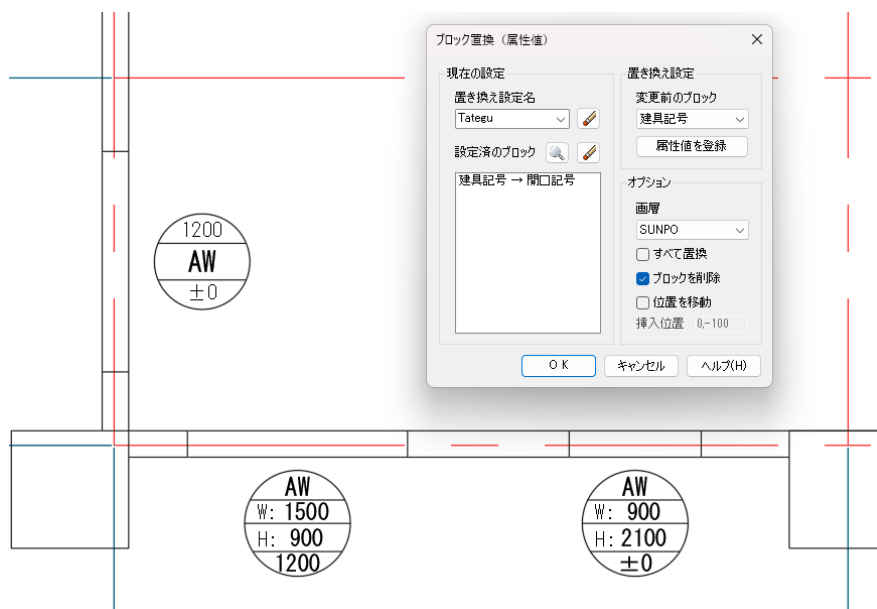
置換属性リスト

変更前のブロック名	変更後のブロック
建具記号	-> 開口記号

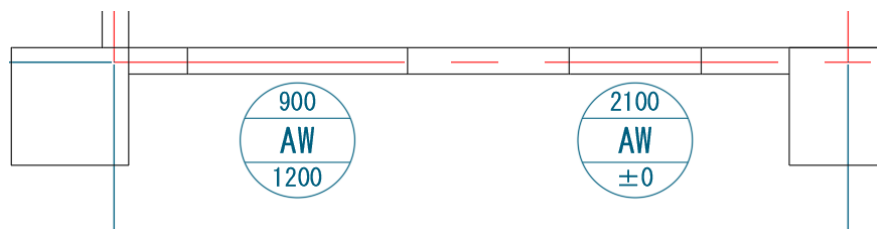
変更前の属性名	変更後の属性名
開口下端	-> 下端レベル
建具高	-> 開口高さ
建具幅	->
建具番号	-> 開口記号

OK キャンセル

6. [OK]ボタンで「置換属性リスト」ダイアログボックスを閉じます。
※ 複数のブロックにまとめて置き換える場合は 2-5 の手順を繰り返します。
7. [ブロックを削除]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



8. 置き換えるブロックを選択すると、指定したブロック・属性値に置き換えられます。



「ブロック置換 (属性値)」ダイアログボックス

グループ	名称	説明
現在の設定	置き換え設定名	「置き換え設定」で指定した置き換え条件のリストに名前を付けて保存します
	設定を削除	登録されている「置き換え設定名」を削除します
	設定済のブロック	現在の「置き換え設定」に登録されているブロックのリストが表示されます

	 設定を表示  設定を削除	「設定済のブロック」の置き換え情報を表示します 「設定済のブロック」を削除します
置き換え設定	変更前のブロック	変更前のブロック名を指定します
	[属性値を登録] ボタン	「置換属性リスト」ダイアログボックスが表示され、変更後のブロック名と属性名リストを登録します
オプション	画層	変更後のブロックの画層を指定します
	すべて置換	☐ 画面上で置き換えるブロックを指定します ☒ 図面に配置された変更前のブロックすべてが置換の対象になります
	ブロックを削除	☐ 変更前のブロックは削除されません ☒ 変更前のブロックが削除されます
	位置を移動	☐ 変更後のブロックが変更前のブロックと同じ位置に挿入されます ☒ 「挿入位置」テキストボックスが有効になり、変更後の位置を指定できます
	挿入位置	変更前の挿入点からの距離を X,Y で指定します

「置換属性リスト」ダイアログボックス

名称	説明
変更前のブロック名	指定したブロック名が表示されます
変更前の属性名	指定したブロックの属性名リストが表示されます
変更後のブロック名	変更後のブロック名を指定します
変更後の属性名	変更後のブロックの属性名を指定します

addS_SCOPY [連続相対複写]

連続して相対複写をおこないます。

アクセス方法



リボン: [adds]→[編集]パネル→[移動]ドロップダウン

解説:

選択したオブジェクトを連続して相対複写します。

コマンド入力: ADDS_SCOPY

相対位置 x,y または x= (Esc で終了) <1000>: 1500,2000

手順:

X 方向に 1500 Y 方向に 2000 の位置に複写する例です。

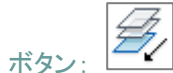
1. [連続相対複写]ボタンをクリックします。
2. 複写するオブジェクトを選択します。
3. 複写する距離として 1500,2000 を入力します。

4. 指定した位置にオブジェクトが複写されます。
5. [Esc]キーで終了するか、次の距離を入力して続けて相対複写します。

addS_LAYOFFWO [画層選択 非表示]

指示したオブジェクト画層以外の画層を非表示にします。

アクセス方法



リボン: [adds]→[プロパティ]パネル→[画層]ドロップダウン

解説:

LAYISO [画層選択表示]コマンドの[非表示(O)]オプションと同じ機能です。

コマンド入力: addS_LAYOFFWO

非表示にしない画層の図形を指示

addS_LAYLCKWO [画層選択 ロック]

指示したオブジェクト画層以外の画層をロックします。

アクセス方法



リボン: [adds]→[プロパティ]パネル→[画層]ドロップダウン

解説:

LAYISO [画層選択表示]コマンドの[ロックしてフェード(L)]オプションと同じ機能です。

コマンド入力: addS_LAYLCKWO

ロックしない画層の図形を指示

addS_LAYFRZWO [画層選択 フリーズ]

指示したオブジェクト画層以外の画層をフリーズします。

アクセス方法



リボン: [adds]→[プロパティ]パネル→[画層]ドロップダウン

解説:

LAYISO [画層選択表示] コマンドを実行して [現在のビューポートでフリーズ(V)] オプションに設定します。

レイアウトのビューポート内で実行するとそのビューポートのみでフリーズ、モデルタブまたはレイアウトのペーパー空間で実行すると図面全体でフリーズします。

コマンド入力: `addS_LAYFRZWO`

選択表示したい画層上にあるオブジェクトを選択 または [設定(S)]: